

# 海気通信

Kaiki News

12号

2017/4/1

発行

千葉市民ギャラリー いなげ  
〒263-0034

千葉市稲毛区稲毛 1-8-35

TEL: 043-248-8723

FAX: 043-242-0729

<http://business4.plala.or.jp/g-inage/>



稲毛八景についてご意見や情報をお待ちしています

稲毛八景は、2014年12月から2016年12月まで6回開催された「いなげお話し会」（講師西川明先生）で選定されました。

## 稲毛八景 海の記憶をめぐる...

### 神谷別荘秋月

旧神谷伝兵衛稲毛別荘は、保養地として別荘地稲毛に残る唯一の洋館建築です。海水浴の賑わいが終わり、海蝕崖の高台から静かな海と秋月を楽しんだ昔の人を偲びます。



徒歩5分

### 白砂落雁



民間航空の先駆者奈良原三次氏は、潮が引くと荷馬車が通れるほどに固く締まる稲毛海岸の砂浜に着目し、飛行場を計画します。

今、稲岸公園にある「民間航空発祥之地記念碑」は奈良原氏の助手を務めていた伊藤音次郎氏などの尽力で1971年に設置されました。

徒歩3分

### 松林夜雨

かつて関東の「須磨」とも称えられた松林です。



この松林には、多くの名旅館がありました。とりわけ「海気館」が有名で、鷗外や藤村など多くの文人墨客が訪れたと記録されています。

徒歩3分

### 稲毛海岸帰帆



船泊まりのあった辺りに千葉トヨペット本社があります。1899年日本勧業銀行本店として東京麹町に建てられ、その後博覧会場、谷津遊園楽天府、千葉市役所（1940年～1961年）など幾度も移築されてきました。

明治建築界の巨匠妻木頼黄氏の手になる「流浪の名建築」は、ようやくこの地に帆を降ろしたように思います。

徒歩8分

### 浅間神社晴嵐

大同3年（808年）富士山本宮浅間大社の分霊を勧請したと伝えられる由緒ある神社です。海に建てられた一之鳥居から参拝するのが正式だったそうです。



徒歩3分

徒歩3分

### ゆかりの家夕照



昭和12年に半年ほど愛新覚羅溥傑氏と嵯峨侯爵家の長女浩さんが新婚生活を送った水飴商鈴木氏の別荘（大正2年頃）です。

保養地「稲毛」の夕照、そして清朝の夕暮れを見つめた建物ともれません。

### 千蔵院晩鐘

千手寺と南蔵院が明治42年に合併してできた真言宗のお寺です。残念ながら梵鐘はありませんが、山門に佇むと読経とともにしみじみと鐘の音が聞こえてきそうです。

千蔵院の周りには、「本郷」と言われた古くからの街並みが残っています。



### せんげん通り暮雪



松井天山の絵地図（1927年）を見ると、せんげん通りには日常の用にたる商いだけでなく自転車店、写真館、醤油醸造、銭湯などが軒を並べ、繁栄の様子がわかります。そして今、せんげん通り商店街は積極的に「街興し」事業を展開し全国的にも注目を浴びています。明るい春が期待できる商店街です。（花香利治氏のはがき絵）

徒歩9分